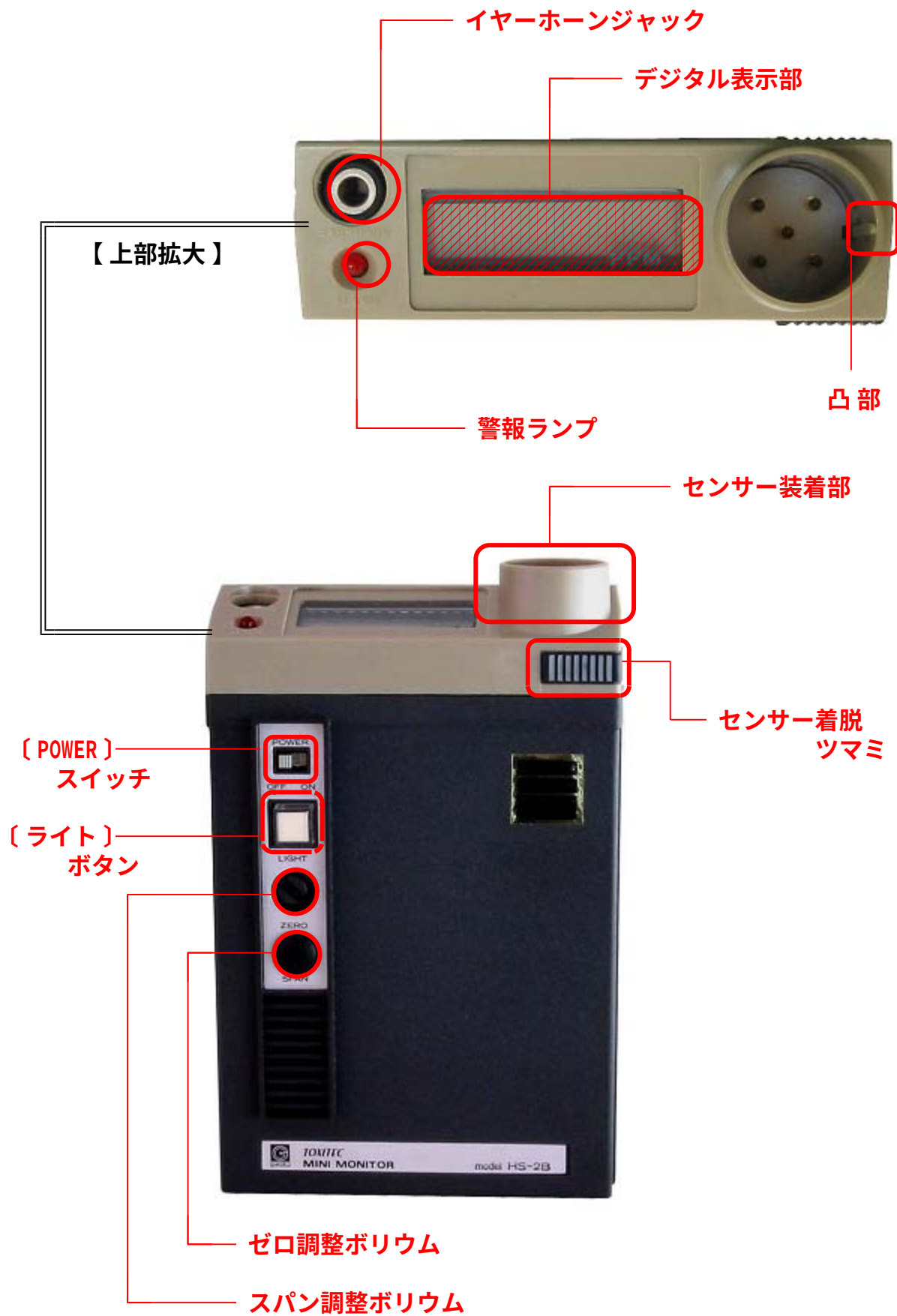


硫化水素検知警報器 使用マニュアル



山梨産業保健推進センター

【各部の名称】



1. センサーの取り付け

- ① センサーの凹部と本体の凸部を合わせ、センサーを押し込みます。
- ② センサーの上部を引っ張り、ロックされている事を確認します。

2. 始業点検

- ①〔POWER〕スイッチを〔ON〕にします。
 - ② バッテリーの残量をデジタル表示部で確認します。(約5秒間表示)
(残量有 = .0.5.0 ~ .0.0.0 = 残量無)
 - ③ バッテリー残量表示後、濃度が表示されます。
±0.5 ppm以下であることを確認します。
- ※ ±0.5 ppm以上の時は、ゼロ調整ボリウムを回してゼロに合わせます。

3. 測定

- ① H₂S濃度が10 ppm ~ 30 ppm以上になると断続音が鳴ります。
H₂S濃度が設定値(10 ppm ~ 30 ppm)の3倍の濃度になると連続音が鳴り、
警報ランプが点滅します。
- ※ 暗い場所で使用する場合は、〔ライト〕ボタンを押します。
- ※ H₂S濃度が40 ppm以上の時は、すぐに測定を終了して下さい。
- ③ 測定終了後、〔POWER〕スイッチを〔OFF〕にします。

4. センサーの外し方

センサー着脱ツマミを横に引っ張り、センサーを取り外します。

- ※ センサーがバネにより押し上げられるので、落とさない様にしてください。

《このマニュアルを使用されます方へ》

- ・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。
その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
- ・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いします。